

石綿(アスベスト)調査・分析のご案内

石綿(アスベスト)のお悩み まずはお気軽にご相談ください。

石綿の事前調査から分析、除去工事
維持点検までトータルサポートいたします。



石綿(アスベスト)とは？

繊維状の天然鉱物の一種です。熱や摩擦に強いことからさまざまな用途に使用されてきましたが、特に建築材料として使用されています。

石綿の粉じんを吸入してしまうと、健康障害を発生させるおそれがあります。

アスベストの専門家が対応致します。

国土交通省が、昨年7月に「建築物石綿含有建材調査者講習登録規程」(平成25年7月30日公示)を定め、一定の要件を満たした機関を国土交通省に登録し、当該機関が行う講習を修了した者に建築物石綿含有建材調査者の資格を付与する制度を開始しています。弊社では、講習の終了が1名おります。また、お客様に満足いただけるよう、「適切な石綿含有建材の分析の実施支援事業(厚労省)」や「石綿分析技術の評価事業(日本作業環境測定協会)」など、各講習会に積極的に参加し、石綿に関する知識の取得と技術向上に日々努めています。

現在ではアスベスト診断士1名、石綿作業主任者9名が在籍しており、お客様からのご要望にお応えしています。

持込み試料の分析も行っております。

ご自身で採取された建材の石綿分析も行っております。試料を当社に直接お持ちいただくか、下記住所にお送りください。当社にて採取キットもご用意しております。

石綿(アスベスト)の使用例



→天井に吹付けられた吹付材。劣化が進んだときに石綿が飛散する可能性があります。



→耐熱性があるため配管に使用されていることがあります。解体、廃棄するには対策が必要です。



→壁や床などの形成板。飛散する可能性は低いが配管と同様、解体、廃棄するには対策が必要になります。

石綿(アスベスト)に関わるご相談・お見積り・試料送付先は
株式会社エオネクス

〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町1-19-4

TEL:076-238-9685 FAX:076-238-7728

E-mail:ishiwata@chika.co.jp

担当 中村信次、竹山

● 自然 + 人 + 未来 ●

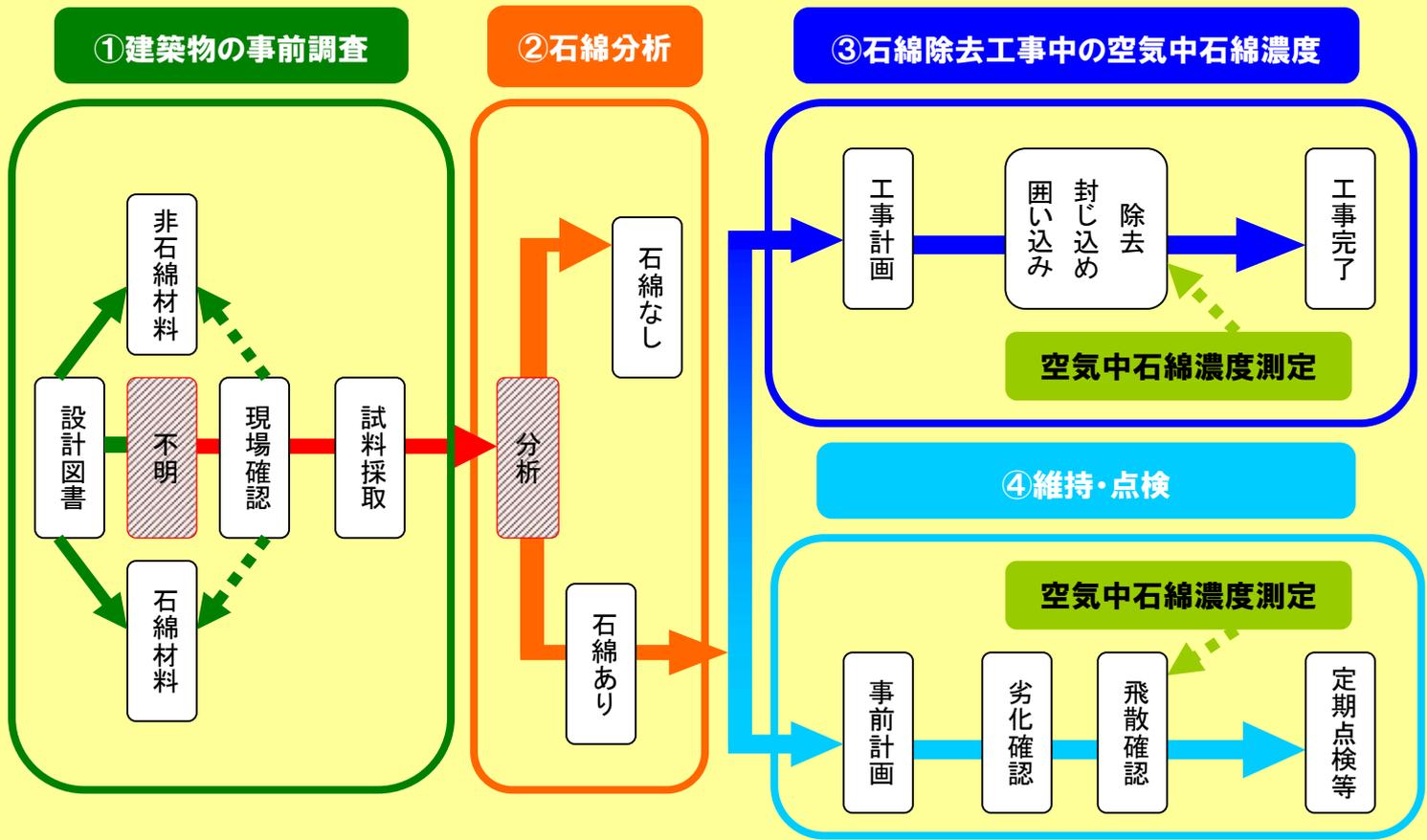
Eonex

計量証明事業登録 石川県 濃度 第7号

作業環境測定機関 石川県労働基準局長 第17-4号

<http://www.chika.co.jp>

石綿(アスベスト)調査・分析の流れ



① 建築物の事前調査

平成 26 年 6 月より、大気汚染防止法等が改正され、解体等工事の受注者は、事前調査を行って、発注者への結果の説明及び掲示が義務づけになりました。石綿の有無が不明の場合、分析での確認が必要となります。

建築物石綿含有建材調査者講習修了者:1名
アスベスト診断士:1名

② 石綿分析

JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」で分析を行っております。現在 6 種類の石綿(クリソタイル、アモサイト、クロソライト、トレモライト/アクチノライト、アンソファイト)の測定が可能です。試料が届いてから通常 3 営業日で結果をご報告いたします。(お急ぎの場合はお問合せください。)

※石綿分析技術評価事業(評価区分 3)
認定分析技術者:A ランク 3 名在籍

③ 石綿除去工事中の空气中石綿濃度測定

除去工事中における、労働者の安全確保、地域周辺への石綿粉じんの飛散が無いよう、濃度測定を適宜行い、確認をします。除去工事に関する、見積もり作成などにも対応致します。

※石綿分析技術評価事業(評価区分 4)
認定分析技術者:A ランク 2 名在籍

④ 維持・点検

石綿除去工事以外の「封じ込め」「囲い込み」については、石綿そのものを残しての処理のため、下記項目等の定期点検が必要になります。

1. 目視による石綿の劣化・損傷等の確認
2. 衝撃・腐食・結露水等による周囲の劣化確認
3. 空气中石綿濃度測定

石綿(アスベスト)に関わるご相談・お見積り・試料送付先は

株式会社エオネクス

〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町 1-19-4

TEL:076-238-9685 FAX:076-238-7728

E-mail:ishiwata@chika.co.jp

担当 中村信次、竹山

● 自然 + 人 + 未来 ●

Eonex

計量証明事業登録 石川県 濃度 第 7 号

作業環境測定機関 石川県労働基準局長 第 17-4 号

<http://www.chika.co.jp>